

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	育成支援 ラ・ポーズ		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 21日 ~ 2024年 12月 27日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	2024年 12月 21日 ~ 2024年 12月 27日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	年 月 日		

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	生活習慣を集団活動の中に取り組み、日常的に行えるよう環境を整えていくことができる	自分の身の回りの整理整頓や衣類を畳む等	事業所内だけではなく野外活動を通して習慣化した事柄を引き出す力を支援していく
2	支援員や子どもたち同士とのコミュニケーションの中で、言葉の使い方や相手への思いやりを育む環境を作れるようSSTトレーニングを行っている	各々の状況や行動に応じた感情のコントロールを行い、関わり方を円滑に行うと同時にコミュニケーションスキルの向上	児童クラブや他事業所と連携をとり多くの人たちとコミュニケーションをとる場を設けて様々なスキルを身に付けていく
3	運動スペースを利用して体を動かして遊ぶ活動を取り入れている	気分転換やストレス発散をしたい時などに活用している	集団活動で運動などを取り入れていき協調性、社会性を身に付けていける活動を取り入れていく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われる	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	社会性を身に付けるために必要となりえる対人関係や気持ちのコントロール	コミュニケーションが取りやすいグループとそれ以外で分かれてしまう傾向がある	仲間意識を必要とする集団活動を取り入れていく必要がある
2	思春期にかかる児童に対する性の悩みや、性教育についての話をを行う機会が少ない	お友達との遊びや動画を通して知ることが多く、その意味を知らずにただ楽しいということだけで使ってしまい、性被害の対象になってしまう	支援員が共通理解をして、性に対する知識と一緒に学びながら発言等のマナーを知っていく
3	部屋の環境が一体化しており学習や集団活動を行うためには優位ではあるが個別に関しては利便性が少し不足している部分がある	中学生・高校生など一人で集中したい時の空間提供が難しい時がある	パーテーション等を使って個々の空間を作り集中できる環境を作る